

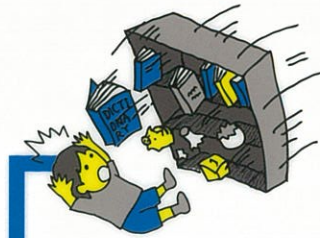
東海岸南6丁目 防災マニュアル

防災の最大の目的

地震発生から15分生き延びる



地震発生!



家具の固定、ガラス飛散防止で未然に防ぐ!

阪神大震災の死者の85%が倒壊家屋による窒息死・圧死。その内の90%が地震発生から15分以内に死亡。

海にいる時は注意を!

茅ヶ崎にはどんな津波がくる可能性があるのか正しく知ることが重要。車や家屋が流れる津波は浸水深2m以上。そのレベルの津波はまず茅ヶ崎に来る可能性は低い。

停電回復後の通電による火災を防ぐために「感震ブレーカー」を設置!

東海岸南は日本一クラスター火災の危険度が高い地域ということを認識し、避難ルート、広域避難所を事前に知る。



全ては事前準備で決まる!

自分が無事に生き延びてこそ
家族・地域の助け合いに参加できる

生き延びたら基本は在宅避難(備蓄は7日間分)



飲料水として
大人1日1ℓ
調理用等考慮すると3ℓ
1人分
 $3ℓ \times 7日 = 21ℓ$



1食0.5合 = 75g
2kgの袋があれば
1人分
27食 = 9日分



避難生活でも温かい食料を
1本65分 1日30~45分
1週間 4本



避難時は水を使わない
便袋を用意
1人分
大 7枚・小 5.25枚

※その他、緊急用の貴重品、持病の薬など個人の状況や体調に合わせて用意する

「もしも」の時は!

- 1 **身の安全確保と脱出口を確保**
ガラス戸、重い家具などから離れる。玄関扉、窓を開け、慌てて飛び出さない。
- 2 **火の始末** ブレーカーを落とす。ガスの元栓を締める。
- 3 **安否確認**
安否タオルを外から見えるところに掲げる。隣近所の安否を確認。
- 4 **一時避難所へ避難**
近くの一時的避難所へ集合。安否確認。連絡。
- 5 **初期消火活動**
救助活動に参加。



津波一時避難場所

津波警報がでたら津波から一時的に身の安全を確保する場所。



広域避難場所

身の危険を感じたら消火活動をやめ、火災の熱から身を守るために「広域避難場所」へ。



● 南六丁目防災倉庫



移動式
ホース格納箱



消火栓



火が天井まで届いたら、隣近所への延燃を阻止するため「移動式ホース格納箱」+「消火栓」

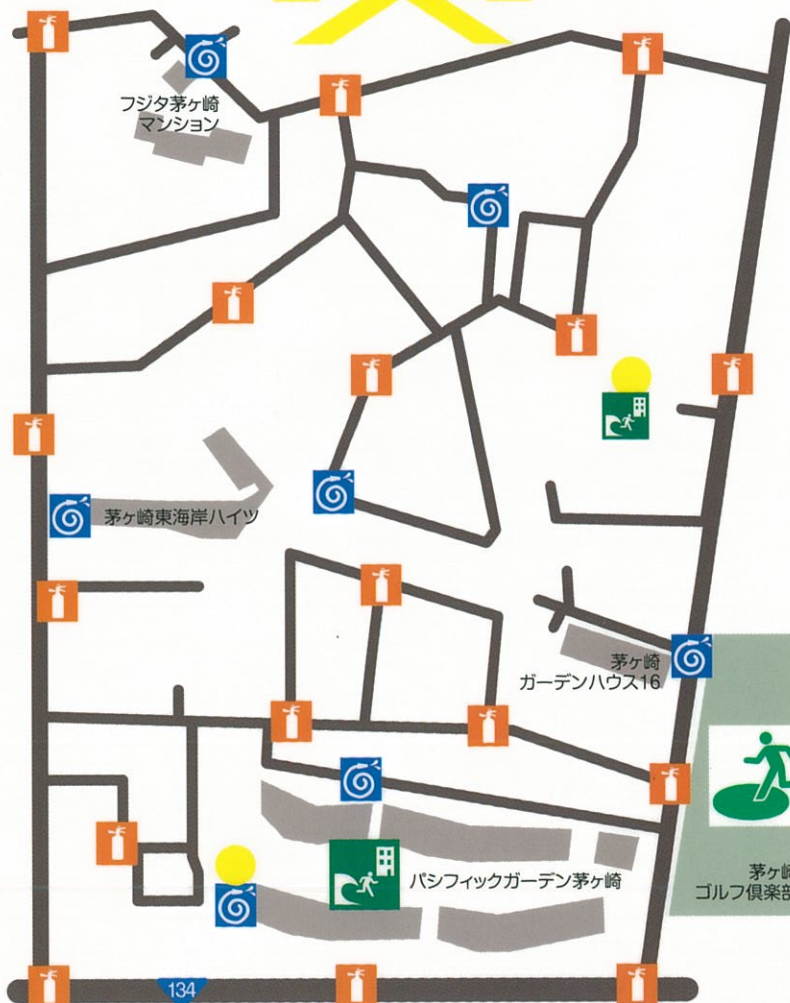


ヴェルビル東海岸
ほか



中央公園(市役所東側)

6丁目より北の避難所



東海岸小学校
第一中学校
ネオサミット茅ヶ崎 ほか



茅ヶ崎公園(野球場)

6丁目より西の避難所

在宅避難生活ができない時は「避難所」(東海岸小学校)へ、ケガをして手当が難しい場合は「医療救護所」(第一中学校)へ。